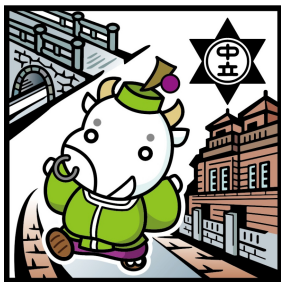
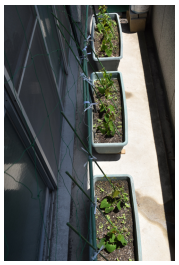


中立えこミニ通信

第　17　号

2024年7月　《発行》中立エコ生活推進会議　議長　藤原　信生

洛芋で作るグリーンカーテン



今年も「グリーンカーテン」を作るために、去る5月9日に、中立会館の南側に「洛芋」を9株植えました。

グリーンカーテンとは、つる性の植物を窓や壁面に這わせてカーテンのようにし、夏の強い日差しを遮る「自然のカーテン」のことです。また、葉の蒸散作用で空気を冷やすことができますし、外からの目隠しの役割も果たしてくれます。こうして、室温が下がることにより、電気代も節約できるという優れ物です。

中立学区では、2021年から毎年栽培していて、今年で4年目になります。水やり等の日々の世話は、中立住協代表副会長である岡田精史さんをはじめ地域の散歩をされている方がしてくださっています。

この夏も洛芋のグリーンカーテンが、中立会館を猛暑から守ってくれることでしょう。

お近くにお越しの際は、是非グリーンカーテンをのぞいてみてください。

コーヒーかす回収

中立学区では、2021年より、mame-ecoさんの「コーヒーかす再利用プロジェクト」に賛同、協力しています。このプロジェクトは、カフェやホテル等からコーヒーかすを回収し、必要とされている農家の方に無料で提供、農家では、堆肥や土壌改良などに利用し、お米や野菜の栽培をするというものです。

今回mame-ecoさんから「回収実績は2,623kg」と報告がありました。コツコツと行ってきた活動が具体的な数字としてあらわされると、嬉しさもひとしおです。これもひとえに学区の皆さんのご協力の賜物と感謝しています。

ご都合の良いときにコーヒーかすをお持ちいただけるように「中立会館の南東角」のところに回収用のバケツを設置していますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

第90回堀川清掃について

「堀川と堀川通りを美しくする会」では、下記の通り堀川の清掃を行いますのでご案内申し上げます。

どなたでもご参加できます。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

記

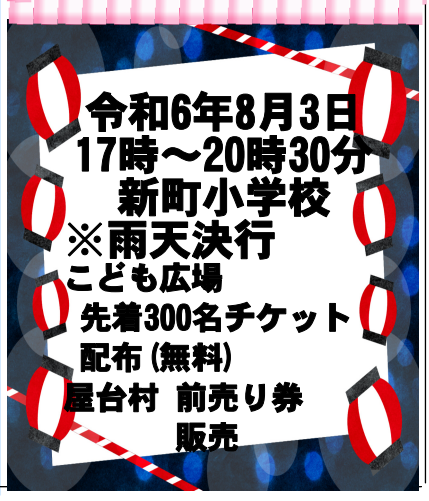
日　　時　令和6年7月21(日)午前7時
※午前6時現在雨天の場合中止

集合場所　みどり公園内（中立売通小川角）

清掃場所　戻橋～下長者町橋

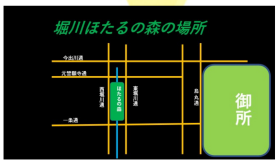
堀川と堀川通りを美しくする会
中立学区代表　辻井　啓三郎　　TEL 431－0776

第16回中立ふれあい広場



京都堀川ホタルプロジェクト

5月20日過ぎから6月中旬頃まで、右記の「堀川ホタルの森」でホタルの鑑賞会が開催されました。これは「京都堀川ホタルプロジェクト」の皆さんが運営され、ホタルの鑑賞会の間は毎日この場所にいらして見守っていらっしゃるということで、見学にいらした地域の皆さんと一緒にホタルを鑑賞した後、「京都堀川ホタルプロジェクト」会長である藤田美雄さんにお話をお聞きしました。



堀川とホタルプロジェクト

堀川は、かつては生活になくてはならない川でした。それが、度重なる洪水の被害のため、昭和の時代に水の流れない川となりました。昭和60年に堀川に水が流れるように運動が始まり、平成21年にはついに水が流れることとなり、堀川の水辺環境整備事業として川底が整備されました。その際にこの場所は保存していただき、有効利用することになりました。水車など、いろいろな案がありましたが、最終的に「ホタルをとばそう！」ということになりました。

※整備される前の堀川

まずは、ホタルが生育できる環境を整えることが必要です。土は、京都府の土木事務所にお願いし、木は、金木犀を1本千円で寄付していただきました。ホタルには、暗所が必要ですが、ここは幹線道路沿いです。木が育つまでは、暗幕を張るなどして何とかしのぎました。現在は、写真のようにこんもりとしたホタルの生育しやすい環境になりました。実は、もう少し暗くしたいのですが、治安の関係で、現在の状態が限界とのことです。

※ホタルの森の初めの頃

※木が茂ったホタルの森

最初の頃は嫌がらせをされることもありましたが、根気強く続けてこられた結果、地域に浸透していっているのではないかと話されていらっしゃいました。

ホタルの生育

毎年3月に、幼虫を300匹購入して放流されています。毎年同じ数だけ放流されているのですが、実際に見られるホタルの数は、毎年大きく違うそうです。自然が相手なので簡単ではないようです。

※ホタルの幼虫

※放流する様子

環境の維持のために

堀川は、清掃のために水がなくなる期間がありますが、ホタルにとって水は最も大切なものです。そこで、行政にお願いして、水が完全になくならないようにされています。また、毎年2月、3月、10月に堀川の清掃を実施され、沿川の7学区から協力金を、ホタルの鑑賞に来られた方から募金を募り運営されています。

年1回、新町小学校と西陣中央小学校に出向かれてお話をし、ホタルや地球温暖化などについて勉強してもらっています。

新町小学校でお話されている藤田会長と藤原当会議長

今後について

ホタルの見学に来られた方から、「ホタルが見れて嬉しい」「とてもよかった」とお声かけいただけるそれだけでとても嬉しく、続けてきてよかったと思うとおっしゃっていらっしゃいました。「この場所は、多くの方のご協力の上に成り立っています。昼は植物や昆虫がいて、夜は蛍がいる場所として、子供たちをはじめ地域の皆さんに楽しんでいただける場所として、今後とも継続していきたい」と考えていらっしゃいます。

藤田会長（ホタルの森で）

取材を終えて

京都の中心地にある堀川に、驚くほど多くのホタルが飛んでいました。皆さんが大変な苦労をされて育ててこられた成果だと感じました。この景色を見せていただけるということに感謝の気持ちで一杯になりました。そして、ホタルは敏感な生き物です。熱に弱く、手で掴んだだけで死んでしまうこともあります。これからも維持していくためには、地域の皆さんのご理解とご協力が必要です。ルールを守り、ホタルの育っていく姿を一緒に見守っていけたらと思います。

取材日の輝くホタル

※の写真は京都堀川ホタルプロジェクト提供

担当委員：岡田精史　大西裕子　編集：瀬野ゆかり